

# 2015 年度企画書

## 北海道学生研究会



Sophisticated Community and  
Academics for Networking

### 目次

・ SCAN とは	
活動概要	2
今年度の取り組み	3
新たな取り組み	4
・ SCAN 主催第 6 回「合同研究発表会」企画案	7
・ SCAN 主催第 4 回「インターカレッジフォーラム」企画案	8
・ SCAN 活動概要	9
・ 合同研究発表会、インターカレッジフォーラム要旨	10
・ 昨年度（2014 年度）協賛・後援団体一覧	15
・ 第 5 期決算報告書	16
・ 北海道学生研究会 SCAN 運営委員役員名簿	18

作成者  
釧路公立大学経済学部 3 年  
第 6 期 SCAN 代表  
三浦 明寛

# 北海道学生研究会 SCAN 活動概要

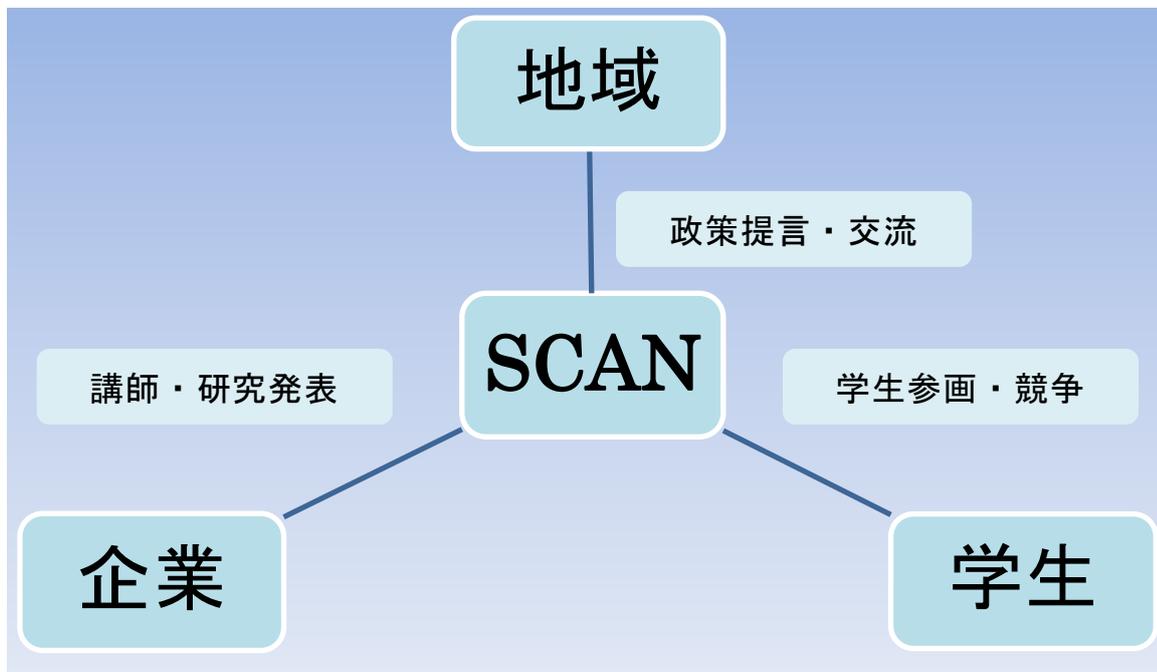
## 《団体設立主旨・理念》

「日頃学生が行っている研究をもっと地域・社会に貢献することはできないだろうか」

その考えをもとに様々な研究を行う大学・学生を集め、2010年6月に学生によりSCANは立ち上げられた。SCANは学生同士の意見交換・交流を深めることで研究意欲を上昇させるとともに、“学生”・“企業”・“地域”を結びつけることによって、北海道の地域活性化へ貢献（政策提言だけでなく、様々な活動を通して）することを目的としている。

SCANは「Sophisticated Community and Academics for Networking」の略称で、地域に住む住民、企業、自治体と大学が結びつくことによって、よりよい地域、コミュニティを作っていくという想いを込めて名付けられている。

## 《地域・企業・大学の関係》



# 今年度の取り組み

北海道学生研究会 SCAN

第 6 回合同研究発表会テーマ

## 『地方創生と向き合う』

### 《テーマへの想い》

- ① 私たち大学生、若者が主体となってこれからの地域を支えていく人材になっていきたいという願いから、単なる地域活性化の案、方法を提案するのではなく、様々な専門分野からの学生ならではの視点で、地方創生と向き合った研究をしてほしいという想い。
- ② 人口急減、超高齢化といった日本が直面する課題と常に向き合い、新たな課題がどこにあるのか、あるいは、一時的な活性化ではなく、持続可能な活性化、自律的な活性化とはなんなのか、といったことを踏まえた、地方創生と向き合った上での研究をしてほしいという想い。

### 《今年度の活動方針》

今年度の SCAN の活動方針は、合同研究発表会などの例年同様の活動に加え、新たな取り組みを行います。毎年度開催している合同研究発表会では、釧路地域研究成果報告セッションを新たに作成し、優秀な研究は釧路にフィードバックする取り組みを行います。

地方創生が叫ばれている今こそ SCAN の力が必要とされており、今年度は、政策提言型に向けた、一歩踏み込んだ活動を展開していく方針です。

SCAN のさらなる飛躍のために、北海道の中心である札幌に、昨年度同様 SCAN 札幌支部を設置し、積極的な活動を展開していきたいと考えております。

# 新たな取り組み

## ① 『地方創生の学びの場事業』

### 《事業概要》

- ① 中学生・高校生・大学生を交えたグループでチームを構成する
- ② チームごとに研究テーマを「釧路市の産業」「中心地の活性化」「釧路市の人口」の中から設定し、1日目に実地見学を行い、2日目にデータの分析・資料作成を行い、3日目にそのテーマについてのプレゼンを行う、3日間の日程構成で実施する
- ③ プレゼンではチーム同士の「バトル」方式で優劣を競う

### 《効果・目的》

#### 直接効果

- ・ 課題解決型の人材育成のための倫理的思考力と分析力の育成
- ・ 大学生との交流や大学施設の活用により大学の情報を得て、進路検討の一つの機会となる

#### 間接効果

- ・ 大学を地域コミュニティとして活用する一つの例となる
- ・ 地元の大学を会場とすることで中学生・高校生を釧路に繋ぎとめる役割を果たす

### 《日程》

2015年10月～11月予定

### 《会場》

釧路公立大学

# 新たな取り組み

## ② 『地方創生の展開・発展の場事業』

北海道学生研究会 SCAN は、釧路市輝くまちづくり交付金の交付を受け、釧路市役所総合政策部都市経営課と連携し、大学の研究室を対象とした研究助成事業を行います。

### 1. 趣旨

現政権以降地方創生が強調され、人口減少問題・高齢化問題解決の糸口として、自立的で持続的な社会の形成、人材確保といったことが地方に求められています。

北海道学生研究会 SCAN では、この課題の解決策として、釧路市をモデルとした研究を募集します。今年度で第6回目となる SCAN 合同研究発表会にて、今年度新たに設置する、釧路地域研究成果報告セクションにおきまして、その研究成果を報告し、都市経営課、有識者の審査の元、優秀な研究においては予算化、事業化を目指した取り組みを行っていきます。

### 2. 助成対象

各大学の研究室および指導教官を対象とします。

### 3. 効果・目的

- ・ 学生の研究からの釧路市への政策提言の実現
- ・ 地域の課題解決を主体的に取り組む人材育成
- ・ 釧路市をモデルとした研究の集積
- ・ 学生の研究する力による釧路市の問題解決
- ・ 地方創生の新たなモデル形成

### 4. 研究テーマ

釧路市役所総合政策部都市経営課より提示されたテーマをもとに、研究をしてもらいます。テーマは下記の通りです。

**釧路市総合政策部都市経営課 釧路地域研究助成事業テーマ**

**『釧路らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す』**

釧路市の人口減少を補完するための、釧路の地域特性を活かした、「若者」の交流人口や定住人口を拡大する仕組みについての提案を求める。

5. 助成金額、助成研究室数

- ・ 助成金額は1研究室5万円となっております。
- ・ 助成研究室数は3～5研究室を予定しております。
- ・ 参加が集中した場合、都市経営課、SCAN運営委員により構成される委運営委員会により、事業計画をもとにした選定を行わせていただきます。

6. 今後のスケジュール

月	発展・展開の場事業
7月	9日（木）エントリー開始
8月	10日（月）エントリー〆切 14日（金）選考結果通知 ※選考結果通知と共に振込口座等の必要書類を送付いたします。
9月	
10月	
11月	30日（月）レジュメ提出
12月	12日（土）第6回合同研究発表会（釧路）の研究成果報告セッションでの研究発表  23日（水）インターカレッジフォーラム（札幌） ※優秀論文に選定された研究室のみ
1月	以後、優秀な研究においては、研究室、釧路市都市経営課、SCANが共同で予算化、事業化への取り組み。

各研究室による調査研究期間

※お問い合わせは下記の連絡先にてお願いいたします。

連絡先 釧路公立大学経済学部経済学科3年  
SCAN代表 三浦 明寛（ミウラ アキヒロ）  
TEL 080-5593-2486  
E-mail [scan946@yahoo.co.jp](mailto:scan946@yahoo.co.jp)（SCAN運営局）

# 第 6 回「合同研究発表会」企画案

## 1. 企画概要

- ① 名称 : 第 6 回「合同研究発表会」
- ② 日程 : 2015 年 12 月 12 日 (土)
- ③ 会場 : 釧路公立大学
- ④ 前年度参加校 : 北見工業大学、釧路公立大学、札幌大学、札幌学院大学、  
はこだて未来大学、北海学園大学、北海道教育大学釧路校
- ⑤ 内容 : ①研究発表テーマをもとに研究した内容を各班に発表してもらい、その中から優秀論文を選出する。  
②釧路地域研究報告セクションにおいて、釧路地域研究助成事業参加班に発表してもらい、その中から優秀論文を選出する。
- ⑥ 目的 : より活発的な意見交換、学生同士の連携、学生と地域の人たちとの連携により、北海道の課題の解決策を模索し、学生の視点から「地方創生と向き合う」について政策提言を行うことで、地域活性化への貢献を図る。

### 研究課題

合同研究発表会テーマ「地方創生と向き合う」「地域」

- ・ 各報告者は「地方創生と向き合う」または「地域」というテーマに基づくように研究し、発表する。
- ・ 釧路地域研究助成事業参加者は、市より提供されたテーマに基づくように研究し、発表する。

## 2. 動員計画

- ① 動員目標  
500人  
(学生300人、地域住民100人、企業の方100人)

※お問い合わせは下記の連絡先にてお願いいたします。

連絡先	釧路公立大学経済学部経済学科3年 SCAN 代表 三浦 明寛(ミウラ アキヒロ)
TEL	080-5593-2486
E-mail	scan946@yahoo.co.jp (SCAN 運営局)

# 第4回「インターカレッジフォーラム」

## 企画案

### 1. 企画概要

- ①名称 : 第4回「インターカレッジフォーラム」
- ②日程 : 2015年12月23日(水)
- ③会場 : 札幌エルプラザ 3Fホール
- ④参加大学 : 未定
- ⑤内容 : 合同研究発表会で選出された優秀論文の発表  
優秀論文の中から最優秀論文の選出  
北海道に関連の深い方をお呼びしての、「地方創生と向き合う」についての講演(未定)
- ⑥目的 : 釧路での合同研究発表会だけではなく、札幌でも発表の場を設けることで、より多くの人に学生の研究やSCANの活動を知ってもらう。  
優秀論文に選出された班にさらなる発表の場を設けることにより、合同研究発表会の質の向上を図る。  
学生発信の発表だけでなく、北海道に関連の深い方をお呼びし、「地方創生と向き合う」について講演していただくことで、学生の知識研究意欲の向上を図る。
- ① 動員目標  
250名  
(学生150名、地域住民50名、企業の方50名)

※お問い合わせは下記の連絡先にてお願いいたします。

連絡先	釧路公立大学経済学部経済学科3年 SCAN代表 三浦 明寛(ミウラ アキヒロ)
TEL	080-5593-2486
E-mail	scan946@yahoo.co.jp (SCAN運営局)

# SCAN 活動概要

- ① 2014 年度第 1 回北海道学生研究会 SCAN 総会
  - ・2014 年 6 月 7 日 14:00～14:30 場所：札幌大学
  - 第 5 期 SCAN 代表の選出、北海道学生研究会 SCAN 規約の制定を行った。
  
- ② ワークショップ「釧路市立図書館移転について市議会議員と考える」
  - ・2014 年 11 月 10 日 16:30～18:00 場所：釧路公立大学
  - 市議会議員の方々と「釧路市立図書館移転について」
  - 「図書館の立地図書館移転に関する市の負担額について」
  - 「図書館移転に関する市の政策決定のあり方」
  - の 3 点をテーマに市議会議員の方々と学生でグループワークを行った。
  
- ③ SCAN 第 5 回合同研究発表会
  - ・2014 年 12 月 13 日 13:00～18:00 場所：釧路公立大学
  - 第 5 期北海道学生研究発表会のテーマ「北海道の可能性」、また「地域活性化」をもとに各班が研究しプレゼンテーション形式で発表し、学生たちの視点で政策提言を行った。
  
- ④ 2014 年度第 1 回北海道学生研究会 SCAN 臨時総会
  - ・2014 年 12 月 13 日 17:30～18:00 場所：釧路公立大学
  - 北海道学生研究会 SCAN 規約変更の承認・決定を行った。
  
- ⑤ SCAN 第 3 回インターカレッジフォーラム
  - ・2014 年 12 月 23 日 13:00～18:00 場所：札幌コンベンションセンター
  - SCAN 第 5 回合同研究発表会で優秀論文に選ばれた大学による研究発表を行い、産学官 1 名ずつの審査員により最優秀論文を選定した。また、ラッキーピエログループ社長王一郎氏に講演を行っていただき、学生の知識研究意欲の向上を図った。
  
- ⑥ 都市計画道路の見直し検討に関するワークショップ
  - ・2015 年 2 月 5 日 16:15～17:45 場所：釧路公立大学
  - 「釧路の主要道路を活用した街づくり」と
  - 「釧路に最適な釧路圏内の都市を結ぶ幹線道路のネットワークについて」の 2 点について、釧路市職員と釧路公立大学生が 2 グループに分かれ話し合った。
  
- ⑦ 2015 年度第 1 回北海道学生研究会 SCAN 総会
  - ・2015 年 6 月 6 日 14:00～14:30 場所：札幌大学
  - 第 6 期 SCAN 代表の選出、北海道学生研究会 SCAN 規約の確認を行った。

# 合同研究発表会の要旨（過年度分）

## 第1回合同研究発表会テーマ「地域」

学生団体の組織の設立をきっかけに従来にない学生と地域の新たなつながりを創出し、地位に関する研究を行う。

## 第2回合同研究発表会テーマ「再生」

東日本大震災における多大な被害からの再生・復興や、地域の諸問題について様々な視点から再生・発展を目指す研究を行う。

## 第3回合同研究発表会テーマ「連携」

新たに理系大学の参加と、札幌でのカレッジフォーラムの開催を試み、学問と地域間の壁を越える連携を目指し、研究を行う。

## 第4回合同研究発表会テーマ「北海道の魅力～発見と活用～」

新たに道外大学を加えた、10大学の参加によって過去最大の研究発表会を行い、北海道の魅力や地域の諸問題について研究を行う。

## 第5回合同研究発表会テーマ「北海道の可能性」

従来の課題研究型から政策提言型への移行、最優秀論文を設け、より質の高い北海道の可能性について研究を行う。

## 第1回（2010年12月18日） 於 釧路公立大学

共通テーマ：地域のつながり

参加大学：札幌学院大学 1ゼミ 北海学園大学 2ゼミ  
北海道教育大学釧路校 1ゼミ 釧路公立大学 4ゼミ

### 内容

9時半～16時半 学生による研究発表会（計12班）

16時半～17時半 シンポジウム「今後どういった大学教育が期待されるか」

パネラー（釧路公立大学学長他 研究者 4名）

### 学生研究テーマ（一例）

「釧路の広告業界の現状と考察」、「拡大する中国の消費と北海道企業の関わり」等

当日参加人数：累計100名程度（報告者を除く）

第2回（2011年12月10日） 於 釧路公立大学

共通テーマ：地域の再生

参加大学：札幌学院大学 2ゼミ 北海学園大学 2ゼミ  
北海道教育大学釧路校 2ゼミ 釧路公立大学 4ゼミ

内容

9時半～16時半 学生による研究発表会（計12班）

16時半～17時半 「北海道から考える東日本大震災」に関するシンポジウム

パネラー（釧路公立大学学長、釧路市防災担当主幹、

慶応義塾大学生、釧路公立大学生）

※慶応義塾大学生は、研究室単位で被災地支援を行っている学生、

釧路公立大学生は、被災地出身の学生

学生研究テーマ（一例）

「介護システムを通じた農村地域の活性化」、「被災者への就労支援と生活再建への課題」  
等

当日参加人数：累計180名程度（報告者を除く）

第3回（2012年12月8日） 於 釧路公立大学

共通テーマ：連携

参加大学：北見工業大学 2ゼミ 札幌学院大学 3ゼミ  
札幌大学 1ゼミ 北海学園大学 3ゼミ  
北海道教育大学釧路校 1ゼミ 釧路公立大学 3ゼミ

内容

13時～17時50分 学生による研究発表会（計13班）

18時10分 閉会式

学生研究テーマ（一例）

「地域活性化のために地方大学に求められている意義と役割－経済・教育・研究の観点からの考察－」、「北海道新幹線についての考察－札幌延伸が地域に与える影響と課題－」、

「地域医療連携における地域連携の現状と課題」等

当日参加人数：累計240名程度（報告者を除く）

第4回（2013年11月30日） 於 釧路公立大学

共通テーマ：北海道の魅力～発見と活用～

参加大学	：大阪経済大学	1ゼミ	北見工業大学	1ゼミ
	札幌学院大学	3ゼミ	札幌大学	2ゼミ
	島根県立大学	1ゼミ	公立はこだて未来大学	1ゼミ
	北海学園大学	3ゼミ	北海道教育大学釧路校	1ゼミ
	北星学園大学	1ゼミ	釧路公立大学	3ゼミ

内容

13時～17時50分 学生による研究発表会（計27班）

18時 閉会式

学生研究テーマ（一例）

「旅行先選択行動の実証分析－根室地域における研究旅行の可能性－」

「音更町における大規模農業の展開と地域づくりの方向性」

「消費者に北海道の旬を伝えるタッチポイントデザイン」等

当日参加人数：累計 350名程度

第5回（2014年12月13日） 於 釧路公立大学

共通テーマ：北海道の可能性

参加大学	：北見工業大学	3ゼミ	札幌大学	2ゼミ
	札幌学院大学	3ゼミ	釧路公立大学	4ゼミ
	公立はこだて未来大学	1ゼミ	北海学園大学	2ゼミ
	北海道教育大学釧路校	1ゼミ		

内容

13時～17時50分 学生による研究発表会（計21班）

18時 閉会式

学生研究テーマ（一例）

「僻地、広域な地域における心臓リハビリテーション患者向けアプリケーションに関する研究 - 北海道の事例に基づいた構築 - 」

「まちづくり型観光 ～フットパスによる内発的発展～」

「別海町の観光振興策について」等

当日参加人数：累計 370名程度

## インターカレッジフォーラムの要旨（過年度分）

第1回（2012年12月22日） 於 札幌コンベンションセンター

参加大学 : 札幌学院大学 1ゼミ

札幌大学 1ゼミ

釧路公立大学 1ゼミ

### 内容

13時30分～14時30分 小磯修二 氏（北海道大学公共政策大学院特任教授  
前釧路公立大学学長）による基調講演

14時40分～16時20分 釧路にて行われた研究発表会で選出された優秀論文の発表

16時30分～18時00分 丸谷智保 氏（株式会社セイコーマート代表取締役社長に  
よる特別講演

第2回（2013年12月21日） 於 札幌コンベンションセンター

参加大学 : 札幌学院大学 1ゼミ

公立はこだて未来大学 1ゼミ

釧路公立大学 3ゼミ

### 内容

13時～15時35分 釧路にて行われた研究発表会で選出された  
優秀論文の発表

15時45分～16時55分 荒井昭吾 氏（株式会社日本ファイターズ事業  
統括本部コミュニティリレーション部  
コミュニティグループ グループ長）

当日参加人数：累計 150 名程度

第3回（2014年12月23日） 於 札幌コンベンションセンター

参加大学 : 北海学園大学 2ゼミ

釧路公立大学 2ゼミ

内容

13時00分～14時30分 王 一郎 氏（ラッキーピエログループ社長）による特別講演

14時45分～17時05分 釧路にて行われた研究発表会で選出された  
優秀論文の発表

当日参加人数：累計 150 名程度

# 昨年度（2014年度）協賛・後援団体一覧

## 【協賛企業】

- ・阿寒バス株式会社
- ・ANAクラウンプラザホテル釧路
- ・帯広信用金庫
- ・釧路建設業協会
- ・釧路市建設事業協会
- ・釧路信用金庫
- ・釧路トヨタ自動車株式会社
- ・コーチャンフォーグループ株式会社リライアブル
- ・鶴雅グループ(株)阿寒グランドホテル
- ・協同組合東北北海道労務福祉協会
- ・株式会社三ツ星レストランシステム
- ・株式会社モロオ
- ・六花亭製菓株式会社
- ・ホームック株式会社
- ・株式会社柳月
- ・イオン北海道株式会社
- ・大塚製菓株式会社
- ・キャリアバンク株式会社
- ・釧路公立大学生協同組合
- ・釧路商工会議所
- ・一般社団法人釧路水産協会
- ・一般財団法人大地みらい基金
- ・株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
- ・株式会社JTB 北海道
- ・一般社団法人  
北海道中小企業家同友会釧路事務所
- ・ホクレン農業協同組合連合会釧路支所
- ・北海道アルバイト情報社釧路営業所
- ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- ・株式会社ムトウ

## 【後援団体】

国立大学法人北見工業大学	釧路公立大学
釧路市	経済産業省北海道経済産業局
公立はこだて未来大学	国土交通省北海道開発局
財務省北海道財務局	財務省北海道財務局釧路財務事務所
札幌学院大学	札幌市
札幌大学	北海学園大学
北海道	北海道教育大学釧路校
北海道教育庁釧路教育局	一般社団法人北海道商工会議所連合会

# 第5期SCAN活動収支決算報告書

(自2014年4月1日～至2015年3月31日)

第5期SCANの収支決算に関しては以下の通りです。

<収入> (単位:円)

名目	金額	内訳
前年度繰越金	163,772	
協賛金	520,000	
研究発表会参加料	92,000	内訳 92人×@1,000
懇親会参加料	423,500	内訳 121人×@3,500
報告集購入料	4,800	6名×@800
収入合計	1,204,072	

<支出> (単位:円)

名目	金額	内訳
1. 研究発表会運営費		
審査員費	57,000	
講演会謝礼金	120,000	
ICF会場使用料	58,148	
ICF機器利用料	29,400	
懇親会費	417,000	開催費 390,000 バス代 27,000
2. 印刷製本費		
報告集作成費	246,240	200部×@1,140+税
パンフレット作成費	78,200	(合研) 500部×@80+税 (ICF) 250部×@140
ポスター作成費	24,732	(合研) 100枚×@92+税 (合研追加分) 50枚×@90+税 (ICF) 100枚×@92+税
チラシ作成費	12,000	コピーカード代
名刺作成費	5,940	

3. 会議費	2,040	お茶代	
4. 消耗品費	8,009	印刷用紙、ペン等	6,735
		USB 代金	1,274
5. 通信費	31,203	報告集郵送代金	19,518
		資料郵送代金	11,185
		FAX 送信代金	500
6. 業務委託金	39,657	K-SCAN による会場設営代 等	
7. 次年度繰越金	74,503		
支出合計	1,204,072		

<次年度繰越金>

収入合計	支出合計
1,204,072	1,204,072

釧路公立大学経済学部経営学科4年  
北海道学生研究会SCAN  
第5期会計 後藤 成美

# 北海道学生研究会 SCAN 運営委員役員名簿

## 役員

役職	氏名	大学	所属
代表	三浦 明寛	釧路公立大学	下山朗研究室
副代表	尾矢 龍次	釧路公立大学	下山朗研究室
	菅原 崇洋	釧路公立大学	神野照敏研究室
	西村 史頌	札幌大学	武者加苗研究室
渉外代表	飯田 翔也	釧路公立大学	下山朗研究室
企画運営代表	大場 裕介	釧路公立大学	下山朗研究室
広報代表	花田 憲優	釧路公立大学	下山朗研究室
会計	佐々木 真帆	釧路公立大学	下山朗研究室

## 運営委員

氏名	大学	所属
安孫子 大輝	釧路公立大学	下山朗研究室
浦野 祐磨	釧路公立大学	下山朗研究室
小林 沙衣加	釧路公立大学	下山朗研究室
清水石 卓也	釧路公立大学	下山朗研究室
下元 直樹	釧路公立大学	下山朗研究室
竹原 将太	釧路公立大学	下山朗研究室
棚澤 拓也	釧路公立大学	下山朗研究室
築館 亮	釧路公立大学	下山朗研究室
丸山 賢太	札幌大学	武者加苗研究室